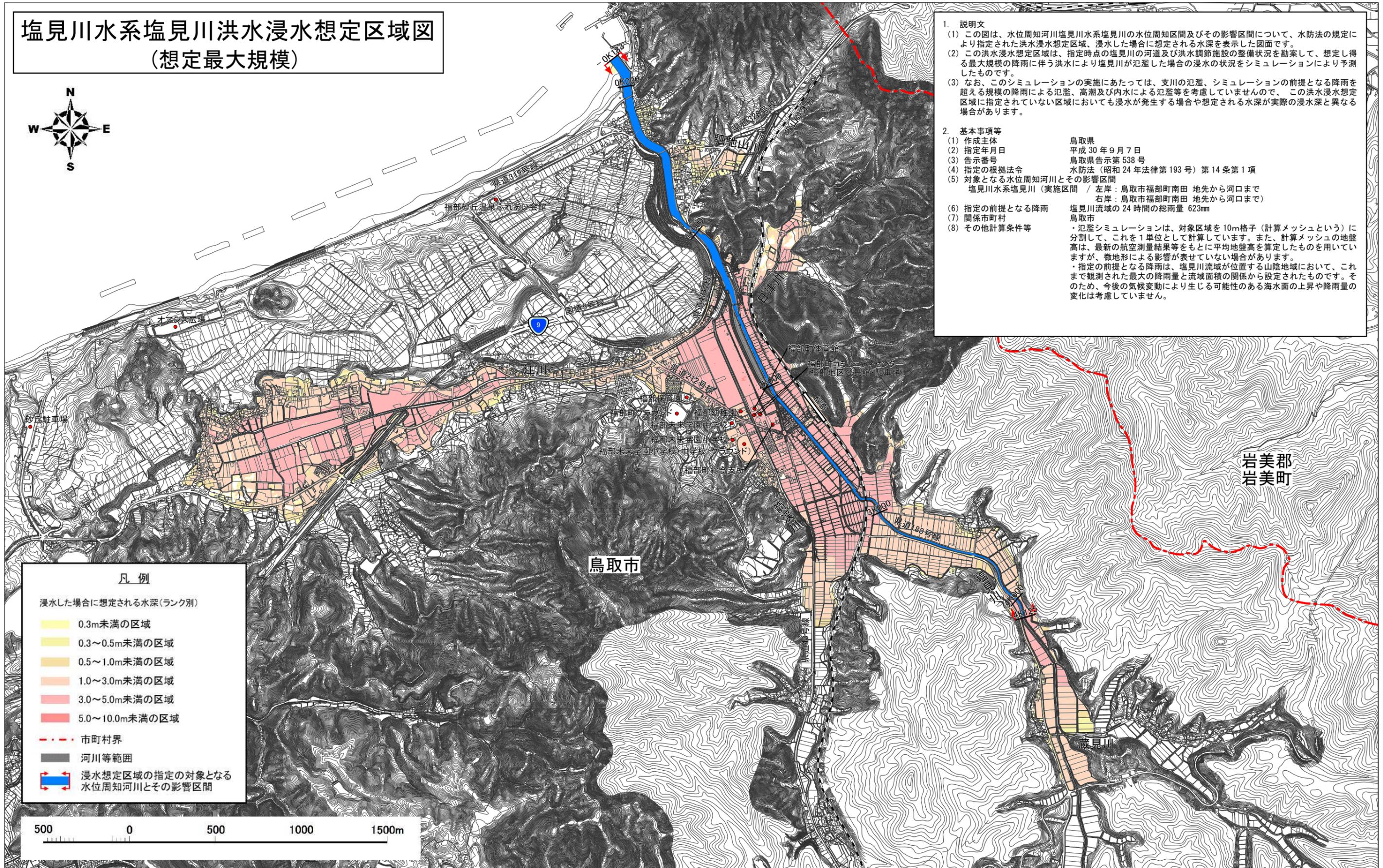


塩見川水系塩見川洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)



1. 説明文
 - (1) この図は、水位周知河川塩見川水系塩見川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の塩見川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により塩見川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等

(1) 作成主体	鳥取県
(2) 指定年月日	平成30年9月7日
(3) 告示番号	鳥取県告示第538号
(4) 指定の根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
(5) 対象となる水位周知河川とその影響区間	塩見川水系塩見川(実施区間 / 左岸:鳥取市福部町南田 地先から河口まで 右岸:鳥取市福部町南田 地先から河口まで)
(6) 指定の前提となる降雨	塩見川流域の24時間の総雨量 623mm
(7) 関係市町村	鳥取市
(8) その他計算条件等	・氾濫シミュレーションは、対象区域を10m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。 ・指定の前提となる降雨は、塩見川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。

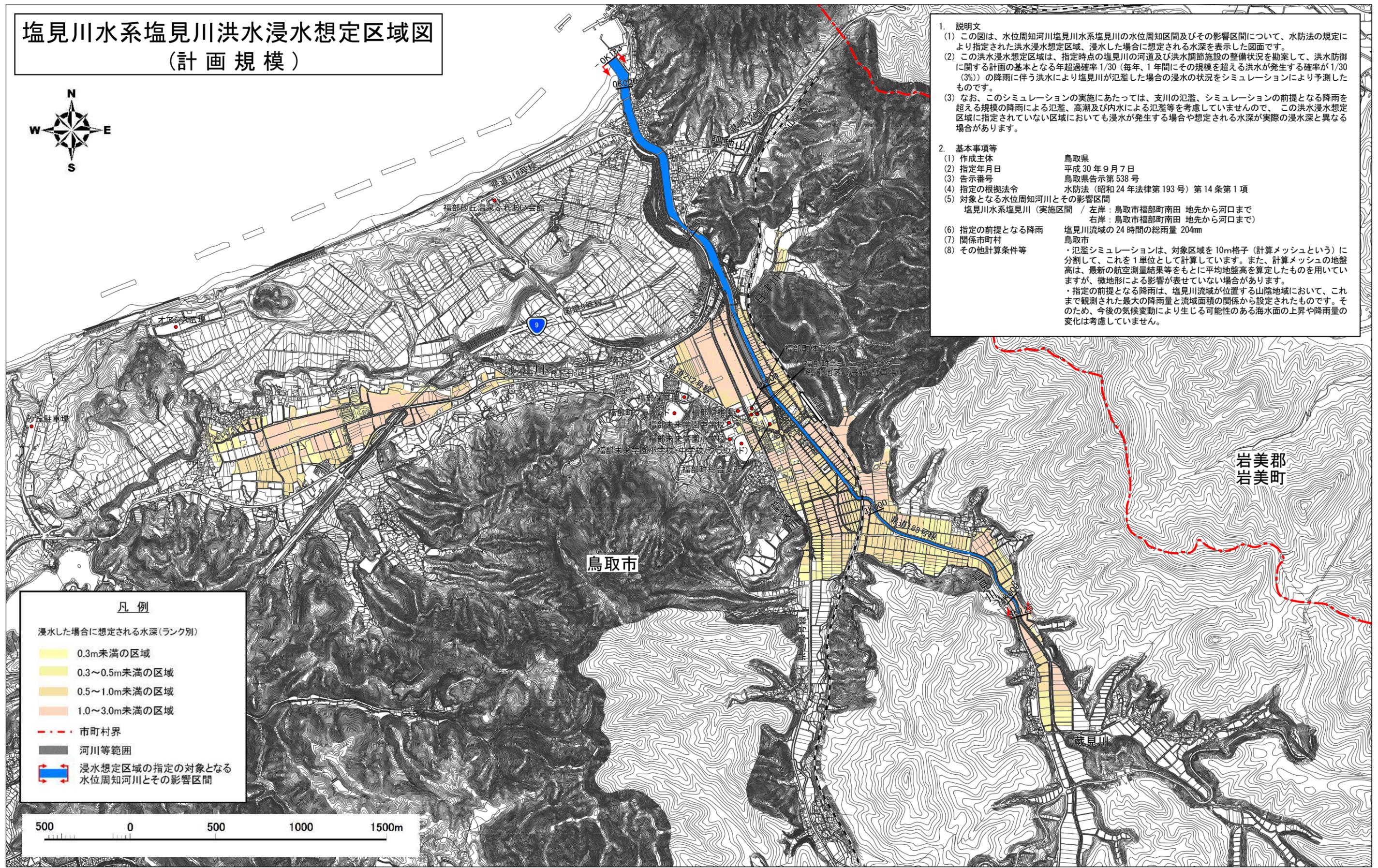
凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.3m未満の区域
- 0.3~0.5m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 1.0~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川とその影響区間

この地図は、測量法第43条に基づく複製承認を得て、鳥取市都市計画図を複製したものです。(承認番号平成30年3月6日付け鳥取市指令受都第343号)
この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第309号)

塩見川水系塩見川洪水浸水想定区域図 (計画規模)

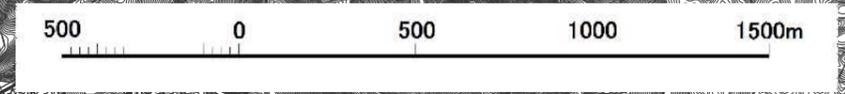


- 1. 説明文**
- (1) この図は、水位周知河川塩見川水系塩見川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の塩見川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））の降雨に伴う洪水により塩見川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2. 基本事項等**
- | | |
|------------------------|--|
| (1) 作成主体 | 鳥取県 |
| (2) 指定年月日 | 平成30年9月7日 |
| (3) 告示番号 | 鳥取県告示第538号 |
| (4) 指定の根拠法令 | 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項 |
| (5) 対象となる水位周知河川とその影響区間 | 塩見川水系塩見川（実施区間 / 左岸：鳥取市福部町南田 地先から河口まで
右岸：鳥取市福部町南田 地先から河口まで） |
| (6) 指定の前提となる降雨 | 塩見川流域の24時間の総雨量 204mm |
| (7) 関係市町村 | 鳥取市 |
| (8) その他計算条件等 | ・ 氾濫シミュレーションは、対象区域を10m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
・ 指定の前提となる降雨は、塩見川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。 |

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

	0.3m未満の区域
	0.3～0.5m未満の区域
	0.5～1.0m未満の区域
	1.0～3.0m未満の区域
	市町村界
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川とその影響区間



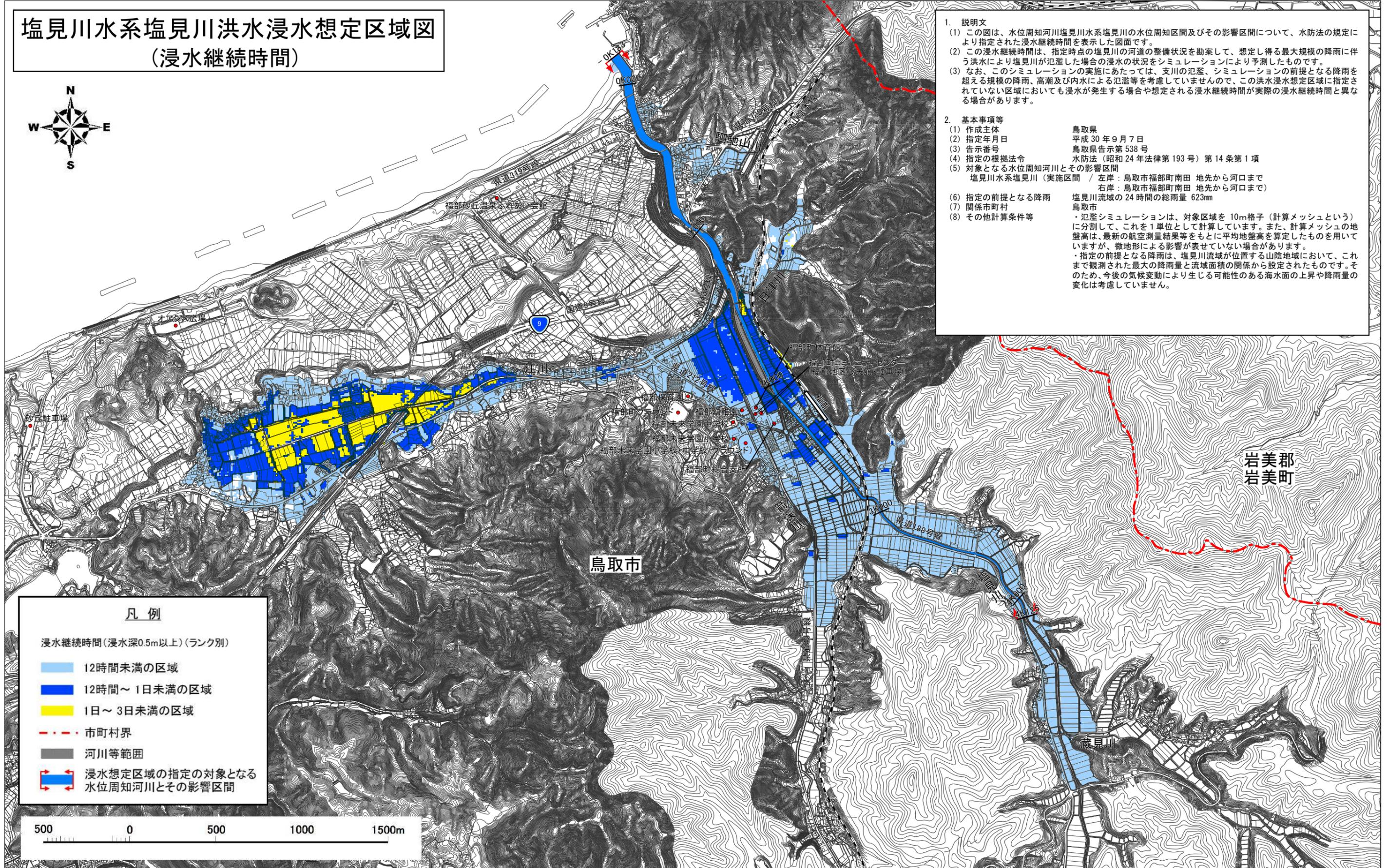
岩美郡
岩美町

鳥取市

塩見川

この地図は、測量法第43条に基づく複製承認を得て、鳥取市都市計画図を複製したものです。（承認番号平成30年3月6日付け鳥取市指令受都第343号）
この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用しました。（承認番号 平30情使、第309号）

塩見川水系塩見川洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間)



1. 説明文
- (1) この図は、水位周知河川塩見川水系塩見川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された浸水継続時間を表示した図面です。
 - (2) この浸水継続時間は、指定時点の塩見川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により塩見川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合があります。
2. 基本事項等
- | | |
|------------------------|--|
| (1) 作成主体 | 鳥取県 |
| (2) 指定年月日 | 平成30年9月7日 |
| (3) 告示番号 | 鳥取県告示第538号 |
| (4) 指定の根拠法令 | 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項 |
| (5) 対象となる水位周知河川とその影響区間 | 塩見川水系塩見川(実施区間 / 左岸:鳥取市福部町南田 地先から河口まで
右岸:鳥取市福部町南田 地先から河口まで) |
| (6) 指定の前提となる降雨 | 塩見川流域の24時間の総雨量 623mm |
| (7) 関係市町村 | 鳥取市 |
| (8) その他計算条件等 | ・氾濫シミュレーションは、対象区域を10m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものをを用いていますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
・指定の前提となる降雨は、塩見川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。 |

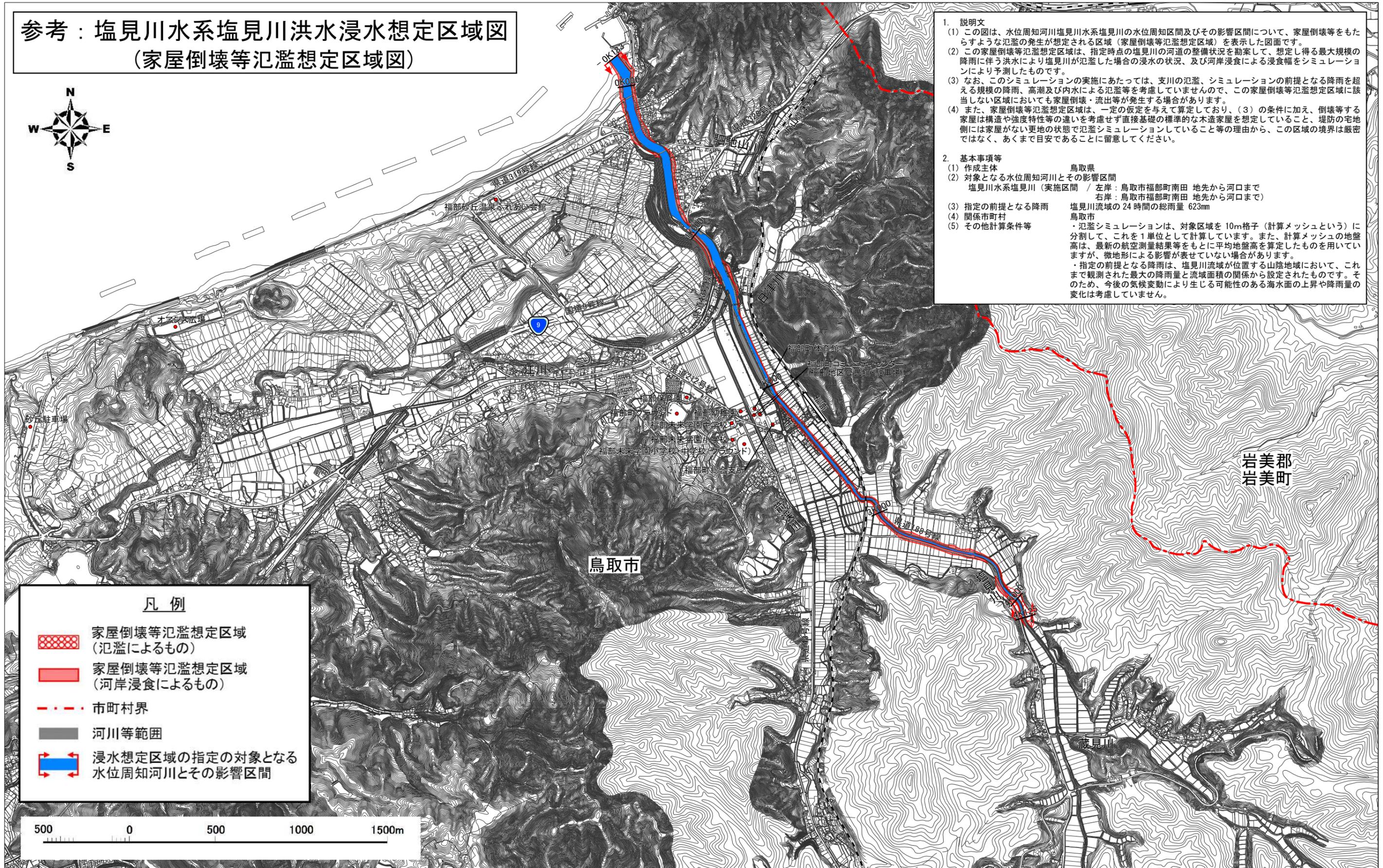
凡例

浸水継続時間(浸水深0.5m以上)(ランク別)

- 12時間未満の区域
- 12時間～1日未満の区域
- 1日～3日未満の区域
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川とその影響区間

この地図は、測量法第43条に基づく複製承認を得て、鳥取市都市計画図を複製したものです。(承認番号平成30年3月6日付け鳥取市指令受都第343号)
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第309号)

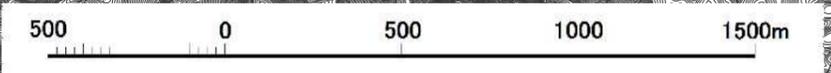
参考：塩見川水系塩見川洪水浸水想定区域図
(家屋倒壊等氾濫想定区域図)



1. 説明文
- (1) この図は、水位周知河川塩見川水系塩見川の水位周知区間及びその影響区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。
 - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、指定時点の塩見川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により塩見川が氾濫した場合の浸水の状況、及び河岸浸食による浸食幅をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に該当しない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
 - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は構造や強度特性等の違いを考慮せず直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫シミュレーションしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。
2. 基本事項等
- | | |
|------------------------|--|
| (1) 作成主体 | 鳥取県 |
| (2) 対象となる水位周知河川とその影響区間 | 塩見川水系塩見川（実施区間 / 左岸：鳥取市福部町南田 地先から河口まで
右岸：鳥取市福部町南田 地先から河口まで） |
| (3) 指定の前提となる降雨 | 塩見川流域の24時間の総雨量 623mm |
| (4) 関係市町村 | 鳥取市 |
| (5) その他計算条件等 | <ul style="list-style-type: none"> ・氾濫シミュレーションは、対象区域を10m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。 ・指定の前提となる降雨は、塩見川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。 |

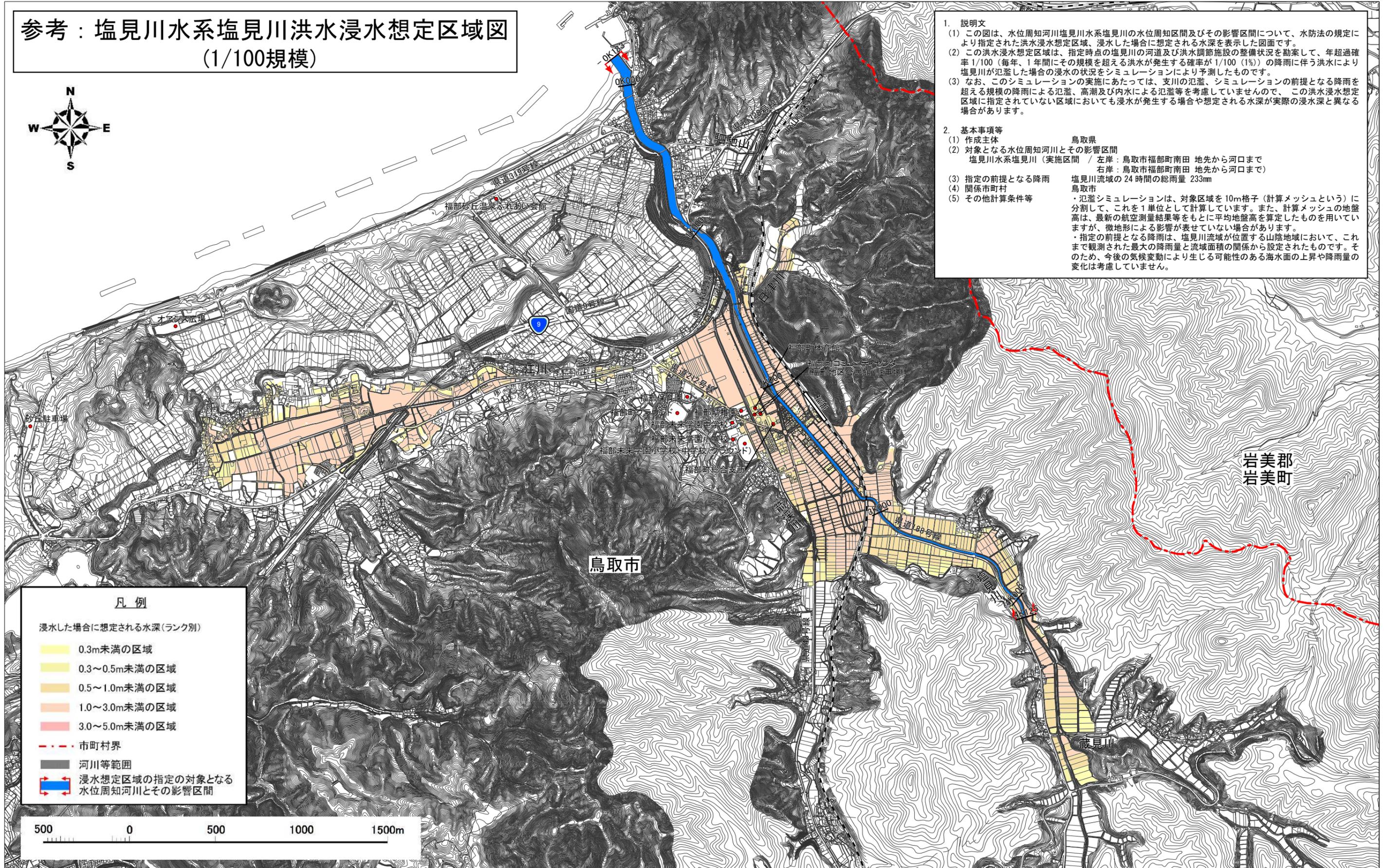
凡例

-  家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫によるもの）
-  家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食によるもの）
-  市町村界
-  河川等範囲
-  浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川とその影響区間



この地図は、測量法第43条に基づく複製承認を得て、鳥取市都市計画図を複製したものです。（承認番号平成30年3月6日付け鳥取市指令受都第343号）
この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第309号）

参考：塩見川水系塩見川洪水浸水想定区域図 (1/100規模)



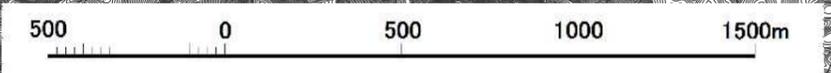
1. 説明文
 - (1) この図は、水位周知河川塩見川水系塩見川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の塩見川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により塩見川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等

(1) 作成主体	鳥取県
(2) 対象となる水位周知河川とその影響区間	鳥取市
	塩見川水系塩見川（実施区間 / 左岸：鳥取市福部町南田 地先から河口まで 右岸：鳥取市福部町南田 地先から河口まで）
(3) 指定の前提となる降雨	塩見川流域の24時間の総雨量 233mm
(4) 関係市町村	鳥取市
(5) その他計算条件等	・氾濫シミュレーションは、対象区域を10m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものをしていますが、微地形による影響が表せていない場合があります。 ・指定の前提となる降雨は、塩見川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。

凡例

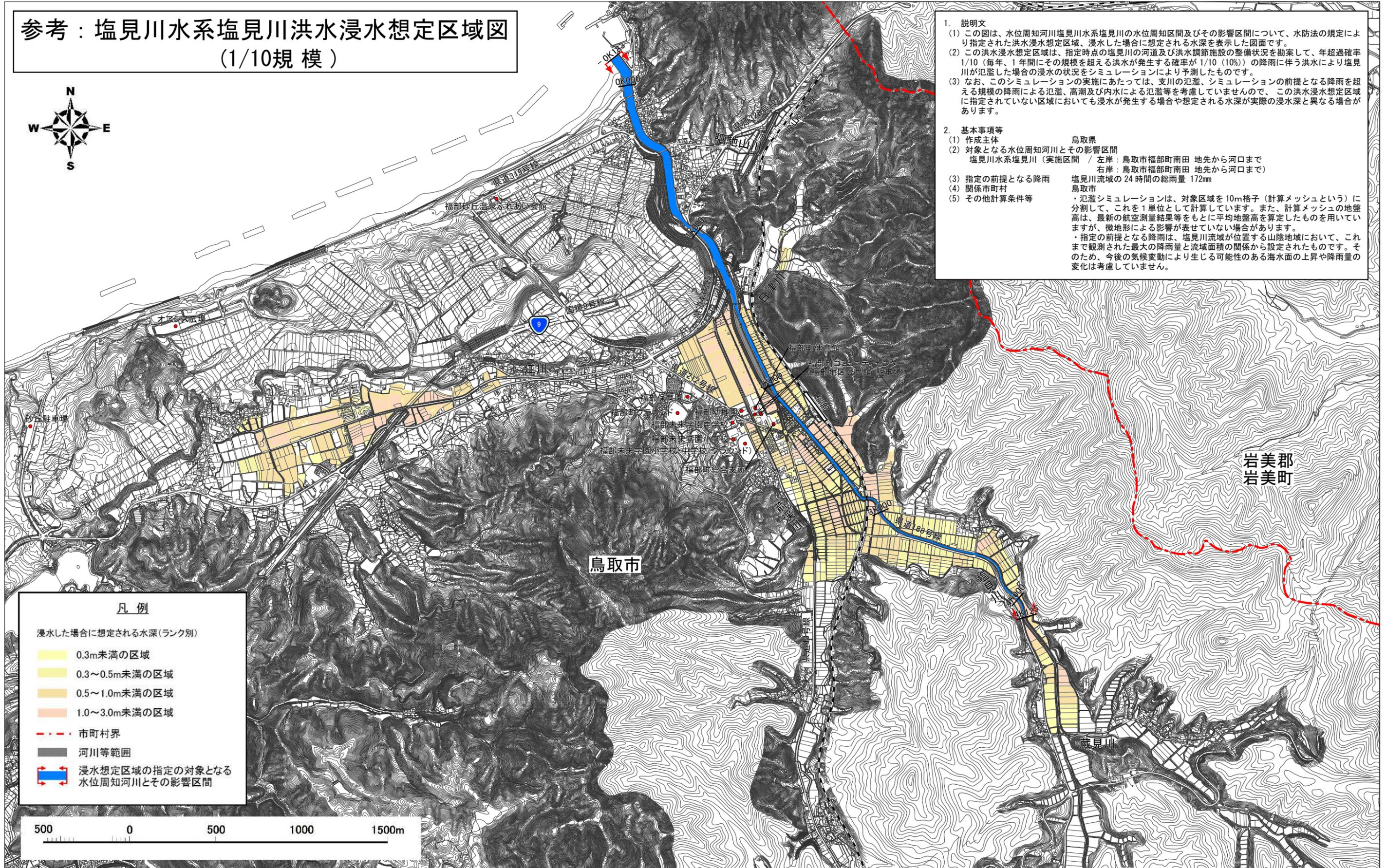
浸水した場合に想定される水深(ランク別)

	0.3m未満の区域
	0.3～0.5m未満の区域
	0.5～1.0m未満の区域
	1.0～3.0m未満の区域
	3.0～5.0m未満の区域
	市町村界
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川とその影響区間



この地図は、測量法第43条に基づく複製承認を得て、鳥取市都市計画図を複製したものです。(承認番号平成30年3月6日付け鳥取市指令受都第343号)
この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用しました。(承認番号 平30情使、第309号)

参考：塩見川水系塩見川洪水浸水想定区域図
(1/10規模)



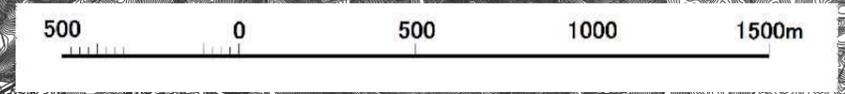
1. 説明文
 - (1) この図は、水位周知河川塩見川水系塩見川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の塩見川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））の降雨に伴う洪水により塩見川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等

(1) 作成主体	鳥取県
(2) 対象となる水位周知河川とその影響区間	鳥取市
塩見川水系塩見川（実施区間）	左岸：鳥取市福部町南田 地先から河口まで 右岸：鳥取市福部町南田 地先から河口まで
(3) 指定の前提となる降雨	塩見川流域の24時間の総雨量 172mm
(4) 関係市町村	鳥取市
(5) その他計算条件等	・ 氾濫シミュレーションは、対象区域を10m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、最新の航空測量結果をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。 ・ 指定の前提となる降雨は、塩見川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

	0.3m未満の区域
	0.3～0.5m未満の区域
	0.5～1.0m未満の区域
	1.0～3.0m未満の区域
	市町村界
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川とその影響区間



この地図は、測量法第43条に基づく複製承認を得て、鳥取市都市計画図を複製したものです。(承認番号平成30年3月6日付け鳥取市指令受都第343号)
この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第309号)